



DEN

No.23

2018.12.21
発行

作業療法を伝える
NEWS&COMMUNICATION

公益社団法人 大分県作業療法協会 広報誌



心豊かに作業療法

CONTENTS - テーマ:地域生活を支える作業療法— 認知症編 —

- 1 教えて! 作業療法「認知症支援について」
- 4 まんが作業療法物語
～ 地域生活を支える作業療法— 認知症編 ～
- 9 施設紹介: 杵築市立 山香病院
社会福祉法人 佐伯市社会福祉協議会

- 11 フレッシュマンインタビュー:
 - 明和記念病院: 佐藤 司
 - 恵の聖母の家: 吉田 知佳
 - 大分下郡病院: 宮成 恭兵
 - 新別府病院: 若杉 佳央
- 13 以心DEN心
- 14 活動報告



教えて! 作業療法

認知症支援について

大分県作業療法協会の認知症支援に関する取り組み

平成28年11月に(一社)日本作業療法士協会の呼びかけのもと、認知症作業療法推進委員会が開催されました。これに伴い、各都道府県に認知症作業療法推進委員が配置され、認知症対応における国、協会、都道府県の情報を密に共有していくことを確認しました。

それから1年余りが経過した現在、各都道府県において、認知症アップデート研修と称した疾病理解と対応力向上を目的とした研修会が開催されています。結果、各地で100名を超える参加者数の報告があり、大分県でも延べ258名の専門職が研修に参加。認知症支援に対する高い関心を感じることができました。また、行政や地域と連携した認知症予防などへの支援の参画については、各都道府県で試行錯誤しながらの実践がなされており、その取り組みについても情報共有している状況です。

大分県作業療法協会では、率先して(公社)認知症の人と家族の会 大分県支部と連携した公開講座を開催し、市民や認知症の人とその家族、行政、各職能団体が共通認識を持ち、繋がる機会としていきます。この機会を第一歩として認知症支援が発展していくことを願います。

大分県作業療法協会 認知症作業療法推進委員会 委員長 甲斐 裕介

「加齢による物忘れ」と「認知症」の違い

ほほう。

記憶力は20代をピークに衰え始めますが、さまざまな経験や体験は50歳頃まで伸び続けると言われています。しかし、60歳頃になると記憶力に加え判断力・適応力などに衰えが見られるようになります。物忘れが多くなるのもこの時期ですが、この物忘れは加齢に伴う自然なもので、認知症の症状ではありません。



加齢による物忘れ

- 体験した出来事の一部を忘れる
- ものの名前を忘れることが多く、ものごと自体はさほど忘れない
- 人や場所、時間はほぼ正しく認識できる
- 日常生活に大きな支障をきたさない
- 自分が忘れていることには自覚がある

認知症

- 体験した出来事の全てを忘れる
- ものの名前だけでなく、ものごと自体も忘れる
- 人や場所、時間を正しく認識しにくくなる
- 日常生活に大きな支障をきたすことがある(電話の取り次ぎができないなど)
- 自分が忘れていることの自覚がない

認知症の種類

アルツハイマー型認知症

- 記憶の障害が強い

脳血管型認知症

- 記憶が保たれている部分と、そうでない部分がある(まだら認知)

レビー小体型認知症

- 幻覚、とくに幻視がみられる
- 転倒を繰り返す

前頭側頭型認知症

- 記憶は保たれるが、早い段階から性格の変化がみられる
- 同じ時間に同じ行動をとってしまう

認知症の予防



積極的に運動をして
体を動かしましょう



野菜・魚・肉などを
規則正しく食べましょう



家族や友人と関わり
交流を持ちましょう



文章を書く、本を読むなど
頭の体操をしましょう

十分な睡眠を
とりましょう



お好きな趣味活動や家事、洗濯、お買い物などを日頃から
することも認知症の予防につながりますよ!!





今回は「服薬管理」についてのコツをご紹介します。

認知症が進んできたからと言って、本人ができることまで介助してしまうと、できていたことさえできなくなる危険があります。

そうならないために…

まず薬が飲めない理由を考えてみましょう。

薬が飲み込みにくい

- ①錠剤は飲みにくい。
- ②苦い。
- ③むせてしまう。

薬を飲み忘れてしまう

- ①複数お薬があって、いつ何を飲めばよいか分からない。
- ②単純に飲み忘れてしまう。

家族でもできる認知症支援 薬を飲むことに対して、以下のような工夫ができますよ。

薬が飲み込みにくい 場合の対応

- 飲み込みやすいお薬(液体・粉・錠剤の大きさや溶けやすさなど)に変更する。
※主治医の先生に相談してみましょう。
- ゼリーやオブラートを使って飲み込みやすいように工夫する。

薬を飲み忘れてしまう 方への対応

- 薬を一包化*する。主治医の先生に相談してみましょう。
- 確認しやすいようにお薬カレンダー、服薬ボックスなどを使用する
- アラームを使って飲む時間を確認したり、家族が薬を飲む時間に声掛けや電話連絡をする。

※一包化とは
服用時期が同じ薬や1回に何種類の錠剤を服用する場合などに、それらをまとめて1袋にすることです。飲み間違いや錠剤の紛失がなくなります。また、手が不自由で薬を取り出すことが難しいという方に便利です。



飲んだ後の袋を入れておくと、きちんと飲んだか確認できるよ



一週間分でも混乱する場合、一日分を管理してみてもどうでしょうか？お薬箱など簡単に手作りできます。



まんが

作業療法物語

地域生活を支える作業療法 — 認知症編 —

Aさんは、夫と二人暮らしの70歳代前半の女性です
1人娘がいますが結婚し県外で生活をしています
地域の活動などにも積極的に参加する活発な女性でした

※複数の専門職が家族の訴えなどにより認知症が疑われる方の家庭を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的に集中的（おおむね6ヶ月）に行い、自立生活のリポートを行うチームのことを言います

しかし、3ヶ月前に夫が他界し、その後より友人との集まりに姿を見せなくなりました

Aさんを心配した友人のBさんから民生委員を通して市役所に連絡が入り、
※認知症初期集中支援チームとして療子がAさんのお宅を訪問することになりました

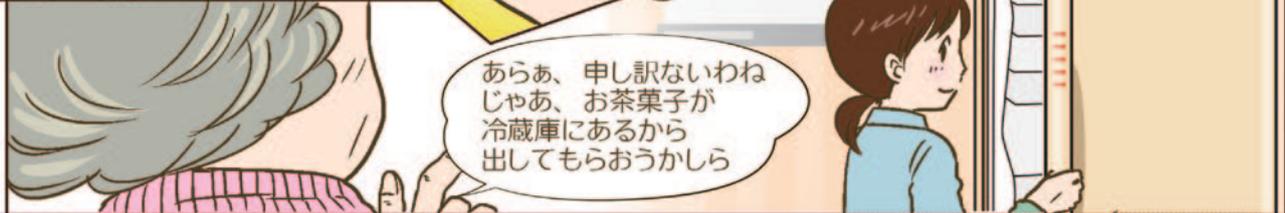




お母さん、
テーブルの上に
置いてたわよー

何かお手伝い
できることは
ないですか？

テーブルの上には、
お薬が山積みになっ
ているなあ…
飲み忘れてないか心配



あらあ、申し訳ないわね
じゃあ、お茶菓子が
冷蔵庫にあるから
出してもらおうかしら



豆腐や卵など同じような
食材でいっぱい…
買ったものを
忘れてしまっているのかな？
物の整理も難しく
なっているのかも

居間では、娘さんへの聞き取りを保健師が行っていました



父が亡くなって一ヶ月は
ひどく落ち込んでいたので
頻りに電話していたんですが、
本人が大丈夫と言うので
そこまで気にしていませんでした
久しぶりに家に来てみてびっくりしました
片づけができずに散らかっているし、
少し痩せたみたい
元はずごくきれい好きで
料理もしっかりする人なんです

それは心配ですね
分かりました

これから少し
お母さんに生活状況を
質問をして、簡単に認知機能の
評価をしますね

※支援対象者のほとんどは病識（病気であるという認識）がありません
できないことをできると言うなど取り繕いがみられ、治療を遅らせる原因となります
会話や観察の中から認知機能についてアセスメントしていきました



Aさんは
おいくつですか？

今、飲んでいる
お薬の内容を
教えてください

血圧のお薬と…
何だったかな？
2か所の病院から
もらっていて…
全部は分からないわ



その後も日付や昨日の
できごとなどを
会話の中で質問していきました

Aさん、昨日の
夕ご飯は何を
食べられましたか？

えっと、何を
食べたかしら？

※見当識障害：認知症の症状の一つで、時間、日付、季節、今いる場所や人が分からなくなる障害

生年月日は、答えることができましたが、日時は曖昧で
 ※見当識障害が疑われました
 また昨日のエピソードを覚えていないなど軽度記憶障害も見られました

こうして初回訪問を終えた療子たちは
 ※チーム員会議でAさんの状況を報告しました

ミーティングルーム



Aさんは夫の死後、家事の機会やご近所さんとの交流が減ったことで、生活が不活発な状態になっています
 早急な対応が必要だと思われます

物忘れや見当識障害もやや進んでいて、買い物や金銭管理、服薬管理は一人では難しく、ご家族の援助も実際の所は難しい状況です

まずは専門の病院を受診しましょう
 服薬調整をしてもらいましょう
 家族や近隣住民の協力も重要ですが、その支援体制が整うまでの間は、訪問介護を利用しても良いですね
 介護保険の申請も説明しましょう

看護師
 介護福祉士
 医師
 社会福祉士
 保健師

※チーム会議では、対象者とその家族にどのような支援が必要であるか、多職種で検討します
 会議で明確にした課題や目標、支援計画をもとに訪問活動を実施し、在宅での支援体制の構築を図ります

Aさんは娘と共に病院を受診し軽度認知症（MCI）の診断を受けました

薬を飲むことで認知症の進行を防ぐことができます
 しっかり治療していきましょう
 飲み間違いがないように、朝食後に1回飲めばよいようにお薬をまとめましょう

2度目の自宅訪問

Aさん、こんにちは
 今日はお薬の飲み忘れを失くすためのアイテムをお持ちしました

何かしら？
 カレンダー？

これはお薬カレンダーと言います
 お薬を忘れることなく飲めるように薬をカレンダーに貼りました

娘さん、お願いしていたものはありますか？

はい！

買って
 おきました

2/20~2/29
 あさ ひる よる

08:10
 WED

お薬を飲む時間がきたらアラームが鳴るように設定しています
 鳴ったら日付と曜日を確認して薬を飲んでください

これなら分かりやすいわ

要介護認定の結果、「要支援1」となりました。
ケアマネジャーを中心に話し合いが行われ、週1回ヘルパー（訪問介護）利用することになりました



後日、ケアマネジャー、ヘルパー、療子で、どこまで介入していくのか確認も含めて訪問することにしました



5ヵ月後の訪問

Aさんはヘルパー利用日以外にも自主的に家事ができようになっています
療子は、外出の機会が増えるよう次のステップを考えました



今度、公民館で
サロンがあるから、
一緒に行ってみませんか？

そうね
行ってみよう
かしら

サロンに行くときー



あら、
Aさんお久しぶり

心配してたのよ
調子はどう？

ありがとう
もう大丈夫よ



Aさんは久しぶりに友人たちと再会し一緒に体操教室に参加しました

サロンへの参加をきっかけに地域の人たちとの交流を再開しました



数ヵ月後

Aさん
いかがですか？

一人で
できることが
増えたんですよ

先日もお家を訪問したら、
家にお友だちが集まっていて、
楽しそうでしたよ
お友だちが上手に関わってくれていて、
ヘルパーも終了できるかもしれません

作業療法士は、対象者のニーズに敏感に気づき、ご本人や家族、他職種とともに考え、工夫し、携わることを通して、人と人をつなぐ役割を担っています

住み慣れた地域の中で安心して暮らせるよう支援を行います

ポストに郵便物が
届いたから
この箱に置くわよ
確認してね

うちの畑でできた
トマトを持ってきたのよ

わあ、おいしそう
新鮮うちに
食べましょうよ洗うわ



参考文献：宮口英樹編：認知症を持つ人への作業療法アプローチ。メジカルビュー社
松浦麻子：初期集中支援を通じた地域連携—作業療法士の立場から—。神経治療 34

杵築市立 山香病院



施設外観

所在地：〒879-1307 大分県杵築市山香町大字野原1612番地1
TEL 0977-75-1234 FAX 0977-75-0873

病床数：一般病棟114床(うち地域包括ケア病棟36床)、
療養病棟24床 計138床

診療科目：総合診療科、内科、外科胃腸科、小児科、泌尿器科、
整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、放射線科、
リハビリテーション科、専門外来(消化器・肝臓内科、
循環器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、
神経内科、リウマチ・膠原病、禁煙、アレルギー)

対象疾患：脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、心大血管疾患
がん疾患

リハビリテーションスタッフ：
作業療法士(11名)、理学療法士(17名)、言語聴覚士(2名)
マッサージ師(1名)、リハビリ助手(1名)

附属施設：介護老人保健施設グリーンケアやまが(入所・通所リハビリ)、
訪問看護ステーション(居宅介護・訪問看護・ヘルパーステーション)、
健診センター、院内保育所たんぼぼ、病児保育所きつきっずケアルーム



作業療法スタッフ

施設紹介

当院は地域の中核病院として二次救急医療^{※1}を担っています。作業療法士は病院、介護老人保健施設、訪問看護ステーションに配置されており病院からは訪問リハビリも提供しています。チーム医療のもと行政や市内の事業所と協働しながら保健・医療・福祉の一体化に努めています。また、もの忘れ健診、出前講座、介護予防教室等の様々な健康増進事業、介護予防事業に取り組んでいます。

地域に向けた認知症に対する取り組み

高齢の入院患者さんには認知症を有す方が少なくありません。退院後の生活を見据えてリハビリを進め、ご家族を支えるための介護環境の整備を行います。また、地域行事の中で認知症予防教室や啓発活動を行い、認知症予防、早期治療への提案をしています。さらに、認知症初期集中支援事業^{※2}を受託しており、医療機関やサービスを利用する方の支援をしています。住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる町づくりに貢献していきます。



出前講座：認知症予防など



やまがふるさとまつり認知症啓発活動



認知症初期集中支援チーム会議

注釈

※1：二次救急医療

入院治療や手術を必要とする重症患者に対応する救急医療。

※2：認知症初期集中支援事業

医師、看護師、保健師、作業療法士など複数の専門職が家族の訴えにより認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的(約6ヶ月)に行い、自立生活のサポートを行う。



記事担当者/手嶋 誠一



社会福祉法人 佐伯市社会福祉協議会

所在地：〒876-0823 大分県佐伯市7255番地13
 (佐伯市社会福祉センター内)
 TEL 0972-24-2956 FAX 0972-22-9031

リハビリテーションスタッフ：
 作業療法士(2名)

関連施設：特別養護老人ホーム豊寿苑、佐伯支部、本匠支部、
 鶴見支部、蒲江支部、上浦支部(デイサービス)、
 弥生支部(デイサービス)、宇目支部(デイサービス)、
 直川支部(デイサービス)、米水津支部(デイサービス)



施設外観



佐伯協 mascot キャラクター hitoshizukuchan



一緒に働くスタッフ



施設紹介

佐伯市社会福祉協議会は平成17年3月に1市8町村の社会福祉協議会が合併して設立され、地域福祉事業、介護保険事業等を行っています。地域福祉事業では、生活困窮者や精神障がいを持つ方の相談、生活支援や住民主体の福祉活動の支援を行っています。また、平成29年9月に発生した台風18号による佐伯市内の被害に対して災害ボランティアセンターの運営も行いました。このように佐伯市社会福祉協議会は福祉活動や住民を主体とした活動に取り組んでいます。

OT活動内容

平成26年より、社会福祉協議会関連の5つのデイサービスで総合事業に携わっています。利用者に対して運動機能向上、認知症進行予防を目的とした運動指導等を行い、利用者の生活課題に対してご家族、介護職員、生活相談員、介護支援専門員(ケアマネジャー)と一緒に課題解決に取り組んでいます。自宅訪問では、買い物などに付き添う中で自立支援の観点での助言や、自宅の環境改善のアドバイスも行っています。また、地域福祉課と連携し、地域で生活支援を行うボランティアに対し、認知症予防講座なども行っています。

認知症の方を対象とする作業風景



カボスゼリー作り



かんくろだんご作り



公園でピクニック



そろそろ梅の収穫



記事担当者/伊東 賢悟





フレッシュマンインタビュー

身体分野

人を笑顔にでき、安心させることができる仕事に就きたいと思っていました。



明和記念病院 佐藤 司



学生時代の写真



仕事風景



明和記念病院 外観

Q1. 作業療法士を目指したきっかけ

祖父の入院がきっかけでした。私が中学生の時です。お見舞いに行った際にリハビリテーションを見学しました。その時祖父が、「この先生のおかげでだんだん手が動きよんのよ」と笑顔で話してくれました。その光景を見て、私も“人を笑顔にでき、安心させることができる仕事”に就きたいと強く感じました。

Q2. 10年後の自分へ

対象者だけではなくご家族の方にも安心していただける作業療法士になりたいです。

Q3. 学生時代の思い出

体育祭です。実行委員だった私は、周りの友人の協力や先生方からのアドバイスもあり、何とか体育祭を成功させることができました。計画通りにいかないことも多くありましたが、チームで協力すれば乗り越えられると感じました。

Q4. 好きな言葉

「常に笑顔」です。周りに安心感を与えることができ、自分自身も常に楽しみながら取り組めるからです。

発達期分野

発達障害のある子どもやそのご家族を支援し続けたいです。



恵の聖母の家 吉田 知佳



学生時代の写真



仕事風景



恵みの聖母の家 外観

Q1. 作業療法士を目指したきっかけ

発達分野で作業療法士が活躍できることを知り、目指すようになりました。入学して勉強や臨床実習を通して、さらに作業療法士の魅力を強く感じるようになりました。

Q2. 10年後の自分へ

発達障がいのある子どもやそのご家族を支援し続けたいです。また、発達障がいに関わる作業療法士や発達障がいに対しての認知度を高めるための人材になってほしいです。

Q3. 学生時代の思い出

国家試験勉強です。勉強は大変でしたが、クラス全員で同じ目標に向かって走り続けることができたことは、とても印象に残っています。

Q4. 好きな言葉

「あとで良かったと思うことは、たいていマイナスの面であられる」

自分が今まで経験してきたことを通して実感することが多くあるからです。

今年の4月から作業療法士の第一歩を踏み出した、大分県内の「身体分野」、「発達期分野」、「精神分野」で活躍されている4名のフレッシュマンに話を聞きました。

精神分野

対象者の方の望んでいる生活や地域生活への復帰の支援ができる作業療法士になりたいと思います。



大分下郡病院

宮成 恭兵



学生時代の写真



仕事風景



下郡病院 外観

Q1. 作業療法士を目指したきっかけ

部活動で怪我をしたときに、リハビリテーションの仕事を知り、興味を持ちました。専門学校オープンキャンパスに参加し、作業療法士という職業に出会いました。作業療法は身体・精神面にアプローチできるという点に魅力を感じました。

Q2. 10年後の自分へ

精神科作業療法での集団活動を大切にしつつ、対象者の方一人ひとりに対して個別でのリハビリテーションを提供していきたいと考えています。その人の望んでいる生活や地域生活への復帰を支援できる作業療法士になりたいです。

Q3. 学生時代の思い出

授業の一環で行った登山です。山頂では班ごとに鍋料理を調理して食べたことや、全員で目標を叫んだことが特に印象に残っています。

Q4. 好きな言葉

「やるしかない」です。この言葉は、専門学校のクラス目標であった「やるしかねえ!!」からきています。専門学校での経験を活かしつつ、これからの経験や出会いを大切に、作業療法士としての技能や考え方を向上させていきたいと思っています。

身体分野

「挑戦」何事にも新しいことにチャレンジしたいです。



新別府病院

若杉 佳央



学生時代の写真



仕事風景



新別府病院 外観

Q1. 作業療法士を目指したきっかけ

小さいころから絵を描いたり、字を書いたり、手作業が好きでした。そんな中、姉が作業療法士として働いている姿を間近でみたことがきっかけで、私も自分の特技を活かしながら作業を通して人と関わりたいと思い、作業療法士を目指しました。

Q2. 10年後の自分へ

対象者一人ひとりの、その日の状態や表情の変化をみて「どうしてだろう」、「なぜだろう」といった疑問を常にもつことのできる作業療法士になりたいです。

Q3. 学生時代の思い出

実習です。さまざまな分野の実習に行かせていただき対象者一人ひとりの生活や人生に初めてじっくりと関わりました。そこで作業療法士としての責任ややりがいを感じることができ、本当に思い出深いです。

Q4. 好きな言葉

「挑戦」です。何事にも新しいことにチャレンジしていきたいと思っています。

「夢旅行」を経験して

常務理事 佐藤 暁 (医療法人 畏敬会 井野辺病院)



私は、大分市にある医療法人畏敬会に所属しています。畏敬会は井野辺病院を中心に医療分野と介護分野で事業展開をしています。介護分野の一つに通所介護「デイサービス夢工房」があり、特徴的な活動として2010年から年一回「夢旅行」を行っています(夢旅行とはデイサービス夢工房の利用者と職員による一泊旅行のことです)。

夢旅行を始めたきっかけは、理事長から「旅行をあきらめた利用者が多いので何とか叶えられないか」との一言でした。早速旅行の企画をはじめましたが、利用者から「人に迷惑かけるから行きたくない」「歩けないので行けない」「不安が大きい」など消極的な意見が聞かれました。しかし、若いころに行った旅行の思い出話を職員にするなど、気持ちが揺れ動いていました。そこで、利用者と職員で不安に思っていることを一つひとつ解消していきました。結果、8回利用者と一緒に旅行をすることができました(毎回25名前後の利用者が参加しています)。

夢旅行で驚いたことがあります。それは、お土産の量(ほとんどがお菓子)です。「お土産の心配をするより自分自身が楽しめばよいのに」と私は思っていたので、「大量のお土産をどうするのか」とある利用者に尋ねました。利用者から「お世話になった人や近所の人に配るの」と言われました。お土産を買って、配って、土産話をし、人や社会とのつながりを持ちたかったのではないのでしょうか。あたりまえの行動ですが、何が大切なのかを教えていただいたような気がします。

「できない」と感じるその先には夢があるからだと思います。夢に向かってチャレンジし続けている「利用者」、その夢と一緒にになってチャレンジする「職員」を誇りに思います。

今後も「あたりまえのことをあたりまえに」を忘れないよう歩んでいきたいと思っています。

第21回大分県作業療法学会

日 時：平成30年1月21日(日) 9:35～16:00

場 所：ホルトホール大分3階

大会議室・301・302・303会議室

テーマ：「再考」活動と参加を支える作業療法

特別講演：「社会が求めている作業療法士の役割」

～生活行為向上の専門職として～

講 師：谷川 真澄氏

(日本作業療法士協会MTDLP推進プロジェクト

委員長/有限会社なるざ 代表取締役)

演題発表：MTDLP特別セッション3題、口述11題、ポスター9題

参加者：190名

春日地区 双葉サロン

日 時：平成30年2月8日(木) 10:30～11:30

場 所：中春日公民館

内 容：生活不活発について(主に認知症の講話)、

体力チェック、めじろん元気アップ体操

参加者：30名

発達支援に関する研修会

日 時：平成30年2月16日(金) 19:00～21:00

場 所：大分県作業療法協会ビル 2階

内 容：①乳幼児精密検診事業における保健師の役割の紹介と
発達支援事業において作業療法士に求めること

講 師：田染 明美氏(豊後高田市役所 保健師)

②発達支援事業における困りごとのあるお子さんに

関する評価や対応

講 師：永松 謙一(博愛病院)

参加者：35名

障がい者スポーツ研修会

日 時：平成30年6月23日(土) 14:00～17:00

場 所：社会福祉法人 太陽の家

内 容：①ボッチャ体験

講 師：木谷 隆行氏(大分県ボッチャ協会)

②ツインバスケットボール体験

講 師：松森 宏人氏(大分県車椅子バスケットボール連盟)

③障がい者スポーツについて(講話)

講 師：池部 純政氏(社会福祉法人 太陽の家 理学療法士)

参加者：29名

大分県リハ職等スキルアップ研修⑦

日 時：平成30年2月23日(金) 19:00～21:00

場 所：コンパルホール 400会議室

内 容：模擬事例のグループディスカッション

事例提供者：村田 健太(湯布院病院)

郷司 実花(明野中央病院)

コーディネーター：佐藤 暁(常務理事/井野辺病院)

参加者：28名

大分県リハ職等スキルアップ研修⑧

日 時：平成30年3月11日(日) 10:00～12:00

場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス

テーマ：「住民主体の通いの場について

～作業療法士がやるべきこと～

講 師：安本 勝博氏(岡山県津山市こども保健部 健康増進課)

参加者：78名

大分県リハ職等スキルアップ研修⑨

日 時：平成30年3月28日(水) 19:00～21:00

場 所：ホルトホール大分 201・202会議室

テーマ：「地域包括ケアシステムの深化～いまやるべきこと～」

講 師：佐藤 孝臣(副会長/株式会社ライフリー)

参加者：55名

認知症アップデート研修会(報告会)

日 時：平成30年1月28日(日) 9:30～12:30

場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス

内 容：実践報告と質疑応答会

事例報告者：青坂 智恵美(サンテラスながとみ)

岩淵 恵美(湯布院病院)

菊地 由加里(大分記念病院)

篠原 美穂(杵築市立山香病院)

品矢 浩太(南海医療センター)

矢野 豊久(明和記念病院)

山崎 翔太(明野中央病院)

参加者：53名

新卒者研修

日 時：平成30年6月3日(日) 10:00～16:00

場 所：大分県産業創造機構 ソフィアホール

内 容：当協会の歴史・組織

公益社団法人としての役割について

各部署、各支部の説明・紹介

参加者：59名

現職者共通研修 生涯教育概論

日 時：平成30年6月19日(火) 19:30～21:00

場 所：大分県作業療法協会ビル 2階

講 師：山崎 翔太(明野中央病院)

参加者：35名

職場の安全管理研修会

～未然に防ぐインシデント～

日 時：平成30年6月10日(日) 9:30～12:00

場 所：コンパルホール 305号室

講 師：日隈 武治(副会長/大分リハビリテーション専門学校)

参加者：12名





第22回 大分県作業療法学会

学会長 平野 政治 (常務理事/明和記念病院)

学 会
テ ー マ



わざ わざ
～つながる業、そして新たなる挑戦～

日 時 2019年1月20日(日) 9:50～16:20

会 場 J:COM ホルトホール大分 大会議室 他 受付 9:30～

特別講演①「作業療法の挑戦～過去・現在・未来～」

講師：太田 睦美 氏(一般社団法人日本作業療法士協会 監事/一般財団法人竹田健康財団 介護福祉本部長代理)

特別講演②「大分県作業療法協会の挑戦」

講師：高森 聖人(公益社団法人大分県作業療法協会 会長/株式会社空色)

特別企画 「挑戦未来を見据えて～行政職員として～」

講師：國政 和子(日田市役所)

トピックス 「高まる作業療法士への期待～発達支援のいま～」

講師：永松 謙一(大分県作業療法協会地域包括ケア事業部副部長/博愛こども成育医療センター)



お問い合わせ先

(公社)大分県作業療法協会

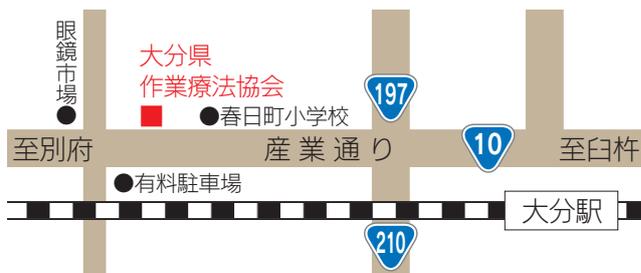
大分市西春日町3-2

TEL: 097-547-8662 FAX: 097-547-8663

<http://www.oita-ot.com/>

Facebookは

こちらから



リハビリテーションのことや、作業療法
のことで分からなかったり、お困りのこ
とがありましたら、右記までご連絡くだ
さい。

公益社団法人 大分県作業療法協会

〒870-0038 大分県大分市西春日町3-2 大分県作業療法協会ビル

TEL:097-547-8662 FAX:097-547-8663

<http://www.oita-ot.com>

●本誌に掲載している写真については、すべてご本人・施設の了承を得ています。